

事実を受け入れる

どんなに母親が子を愛していても

救うことが出来ない時がある

病んで死の淵にある子供の

いざらしさに泣いても

母は子の命に代わってやることはできない



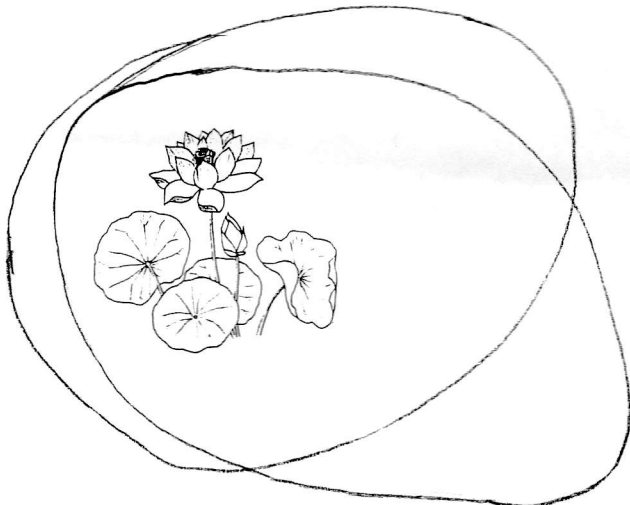
どんなに親孝行な子でも

どうにもできないことがある

母が老いてゆくのを

どれほど悲しもうとも

子は母の老いに代わることはできない



どんなに愛の絆が強くても、いつか切れる時がある

受け入れなければならないことがある

その悲しみをのりこえなければ

進めない時がある